

事業報告書

- 検定職種 : 機械保全職種
- 事業年度 : 2020年度 (2020年4月1日(水) ~ 2021年3月31日(水))

事項	計画	状況
1 試験科目の認定等 (1) 指定試験機関技能検定委員の選任計画等 【能開則第63条の9第3項及び第4項に関する事項について】	<ul style="list-style-type: none"> 試験問題作成担当(査読担当含む)の検定委員は、必要に応じ交代又は追加で選任する。試験問題作成担当の検定委員は、30名~35名程度とする。 採点や技術的事項の検討を担当する検定委員は、再任および交代・追加により、250名~300名程度を選任する(任期は1年)。 	<ul style="list-style-type: none"> 試験問題作成担当(査読担当含む)の検定委員数 計36名(首席1名、機械系保全作業7名、電気系保全作業6名、設備診断作業6名、特級6名、基礎級5名、査読担当7名) 採点や技術的事項の検討を担当する検定委員数 3級: 試験中止のため選任せず、1級・2級: 194名
(2) 試験問題等の作成等の計画 【能開則第63条の9第1項に関する事項について】	<ul style="list-style-type: none"> 試験問題作成委員会を、特級、機械系保全作業(基礎級含む)、電気系保全作業、設備診断作業の4つの部会に分け、各部会の担当委員で検討作成するほか部会を年4~6回開催し、技術的検証と確認を行う。 試験問題作成事務局での根拠調査、チェック強化のほか、引き続き専門校正業者での査読(技術事項以外)も実施する。 正解表作成時、公開時の確認体制を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 試験問題作成委員会を下記のとおり開催した。 ※オンライン会議含む 特級: 2回 機械系保全作業: 4回 電気系保全作業: 3回 設備診断作業: 3回 通常作成工程に加えて下記チェックを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 査読専門の問題作成委員のチェックを実施 ➢ 校正ソフト利用と併せて専門校正業者での校正校閲 ➢ スケジュールを早め事務局での確認・編集・校正を行った ミス再発防止策の徹底を図り確認作業を行った。
(3) 試験問題の水準調整会議の開催計画 【能開則第63条の9第1項に関する事項について】	<ul style="list-style-type: none"> 3級: <u>試験中止のため水準調整会議も中止</u> 1級・2級: <u>水準調整会議は11月下旬~12月初旬に実施する。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 水準調整会議を下記のとおり実施した。 3級: <u>試験中止のため水準調整会議は実施せず</u> 特級・1級・2級: DVD配布による映像視聴方式で実施

事 項	計 画	状 況
【事項について】	<p>なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、<u>検定委員が映像視聴により説明内容を確認する方式で実施し、質問等はメール等で対応を行う。ただし、映像視聴ができない検定委員については、別途、少人数での会議等を実施し、説明を行う。</u></p>	<p>※映像視聴が出来ない検定委員はいなかったため集合会議は行わなかった</p>
<p>2 技能検定試験の実施等 (1) 公示・公表 ① 実施公示 【技能検定実施計画において規定される指定試験機関が行う実施公示】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特級・1級・2級・3級について、ホームページ上において、2020年3月2日（月）から2021年2月28日（日）まで公示する。 ・ 3級の詳細は、ホームページ上において2020年3月2日（月）から2021年2月28日（日）まで、特級・1級・2級の詳細は、2020年8月3日（月）から2021年2月28日（日）まで掲載する。 ・ 受検案内は、過去3年間に受検者がいた企業、工業高校、関係団体、会員企業等に配布し、周知する。また、ホームページからダウンロードできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公示は下記のとおり実施した。 2020年3月2日（月）から2021年2月28日（日）までホームページにて公示内容を掲載した。併せて試験要項、試験概要、受検申請で詳細の案内を掲載した。 ・ 受検案内の配布 過去3年間の申請団体に以下のスケジュールで配布し周知を行った。 3級：2020年3月2日（月） 特級・1級・2級：2020年8月3日（月）
<p>② 実技試験問題の概要、合否基準並びに試験問題及びその正答の公表</p>	<p>① 実技試験（製作等作業試験）の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気系保全作業（製作等作業試験）の試験問題概要は、ホームページにおいて、試験実施の3週間前を目途に掲載して公表するほか、受検票とともに通知する（<u>3級は試験中止のため2020年度は公表を行わない</u>）。 <p>② 合否基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページにおいて掲載して公表する。 <p>③ 試験問題及びその正解の公表</p> <p>ホームページにおいて、すべての試験日程が終了した日から2週間以内に、問題及び正解を公開する。ただし、機械系保全作業、設備診断作業の</p>	<p>① 実技試験の概要【電気系保全作業（製作等作業試験）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気系保全作業（製作等作業試験）は以下の通り公表した 3級：試験中止のため公表せず 1級・2級：ホームページにおいて、2020年11月6日（金）（試験実施1か月前） ・ 受検票は以下の通り発送した 3級：試験中止のため発送せず 特級・1級・2級：個人申請 2020年11月13日（金） 団体申請 2020年11月20日（金） <p>② 合否基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運営するホームページにおいて常時公表している <p>③ 試験問題およびその正答は以下の通り公表した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3級：試験中止のため公表せず ・ 特級・1級：ホームページにおいて、2021年1月22日（金）【※】 ・ 2級：ホームページにおいて、2020年12月25日（金）【※】

事 項	計 画	状 況
	判定材料（資料、写真、図版等）及び電気系保全作業（製作等作業試験）の試験問題、機材、正解は公開しない。	※製作等作業試験である電気系保全作業の正答、機材、および判断等試験である機械系保全作業、設備診断作業の判定材料(写真、図版等)は除く
(2) 受検申請書の受付 【法第47条第1項に関する事項】	<p>① 3級（機械系保全作業、電気系保全作業）</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネット受付：2020年3月30日（月）10:00～4月17日（金）18:00 郵送受付：2020年3月30日（月）～4月10日（金）消印有効 <p>※4月13日に試験中止を公表しインターネット受付を中止した。郵送で受け付けた申請書は返却を行う。</p> <p>② 特級・1級・2級（機械系保全作業、電気系保全作業、設備診断作業）</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネット受付：2020年9月7日（月）10:00～10月2日（金）18:00 郵送受付：2020年9月7日（月）～9月25日（金）消印有効 	<p>① 3級</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年4月13日（月）に試験中止を公表しインターネット受付を中止した。郵送で受け付けた申請書はすべて返却を行った。 <p>② 特級・1級・2級</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネット：2020年9月7日（月）10:00～10月2日（金）18:00 郵送：2020年9月7日（月）～9月25日（金）消印有効
(3) 受検票等の交付に係る計画 【法第47条第1項に関する事項】	申請事項が適正なものに対して、試験日の1か月前～3週間前に、受検票を受検者（または受検申請の取りまとめ者）宛に発送する。 ※3級は試験中止のため受検票の交付は行わない。	受検票は以下の通り発送した 3級：試験中止のため発送せず 特級・1級・2級：個人申請 2020年11月13日（金） 団体申請 2020年11月20日（金）
(3) 実技試験の実施 【法第47条第1項に関する事項】	別紙1のとおり。	別紙1のとおり。
(4) 学科試験の実施 【法第47条第1項に関する事項】	別紙1のとおり。	別紙1のとおり。
(5) 試験の合否判定等の状況 【法第47条第1項に関する事項】		<ul style="list-style-type: none"> 合否判定基準に基づき下記のとおり技能士合格と判定した 特級：156人 1級：2,708人 2級：4,748人

事 項	計 画	状 況
		3級：26人 基礎級：757人 随時3級：156人 随時2級：0人
(6) 合格者の発表等 【法第47条第1項に関する事項】	① 3級：試験中止のため合格発表を行わない。 ② 特級・1級・2級：2021年3月19日（金）に合格発表を行う計画で、厚生労働大臣による合否決定の手続き等を実施する。	・ 厚生労働省による合否決定に基づき下記のとおりホームページへ掲載し、全受検者へ結果通知の発送を行った。 ① 3級：試験中止のため発表及び通知せず ② 特級・1級・2級：2021年3月19日（金）
(7)合格証書の交付等の状況	-	・ 技能士合格者に対して、下記のとおり合格証書を交付した。 ※（ ）内は合格証書の再交付件数 特級：156（0）人 1級：2,708（36）人 2級：4,748（56）人 3級：26（12）人 基礎級：757（2）人 随時3級：156（0）人 随時2級：0（0）人
3 その他 (1) 秘密保持義務、業務制限等の周知	秘密保持義務、秘密事項の範囲、秘密資料の適切な取扱い及び業務制限について、試験業務に関わる役職員に対しては2020年4月に部内研修で周知し、技能検定委員に対しては、選任時及び水準調整会議において周知徹底する。	・ 秘密保持義務を含む情報管理について、試験業務を担当する職員に対し2020年9月に周知徹底した。 ・ 技能検定委員に対しては、秘密保持および業務制限について選任時に説明するほか、水準調整会議において説明し周知徹底した。
(2) 試験業務に関する内部監査の実施	試験業務に関与していない役職員を監査担当者に任命し、2021年2月～3月の間に、試験業務を対象に、内部監査を実施する。	・ 試験業務に関与していない調査研究開発部長および普及推進部所属の職員の2名を監査担当者とし、2020年3月11日（水）に内部監査を実施し、2020年5月18日（月）の理事会にて報告を行った。

別紙1 試験日・実施地区

- 試験年度 : 2020年度 (2020年4月1日～2021年3月31日)

等級	区分	計画		実施
		日程	会場	
随時3級、基礎級	学科	2020年4月1日(水)～2021年3月31日(水)において当会が指定する日	各都道府県において、当会が指定する会場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時3級、基礎級は下記のとおり試験を実施した。 随時3級：2020年4月1日(水)～2021年3月31日(水) 基礎級：2020年4月1日(水)～2021年3月31日(水) 当会が指定する場所（主として、監理団体または受検者が所属する企業内または当会が確保した会場や当会保有の研修室)にて実施した。
	実技			
3級	学科	試験中止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各都道府県に1会場を目安に、設置する。 ・ 具体的な会場設置場所は、県庁所在地または地理的・交通の便を考慮し、かつ過去3年間の実績及び2019年度の受検希望者数をもとに決める。実績や希望者が少ない地域でも、他の試験会場までの距離や交通手段を考慮して試験会場を設置することがある。 	試験中止のため実施せず
	実技	試験中止		試験中止のため実施せず
特級	学科	2021年1月17日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各都道府県に1会場を目安に、設置する。 ・ 具体的な会場設置場所は、県庁所在地または地理的・交通の便を考慮し、かつ過去3年間の実績及び2019年度の受検希望者数をもとに決める。実績や希望者が少ない地域でも、他の試験会場までの距離や交通手段を考慮して試験会場を設置することがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特級学科・実技試験は下記のとおり試験を実施した。 2021年1月17日(日)に実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり
	実技			

等級	区分	計画		実施
		日程	会場	
1級	学科	2021年1月17日(日)	<ul style="list-style-type: none"> 企業・学校からの団体申込みの場合、当該企業・学校を会場とすることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 1級学科試験は下記のとおり試験を実施した。 2021年1月17日(日)に実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり
	実技	① 機械系保全作業、設備診断作業 2021年1月17日(日) ② 電気系保全作業 2020年12月5日(土)～2021年2月21日(日)の間で、当会が指定する日に複数回実施。		<ul style="list-style-type: none"> 1級実技試験は下記のとおり試験を実施した。 ①機械系保全作業、設備診断作業 2021年1月17日(日)に実施した。 ②電気系保全作業 2020年12月5日(土)～2021年2月21日(日)の間で、当会が指定する日に実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり
2級	学科	2020年12月20日(日)		<ul style="list-style-type: none"> 2級学科試験は下記のとおり試験を実施した。 2020年12月20日(日)に実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり
	実技	① 機械系保全作業、設備診断作業 2020年12月20日(日) ② 電気系保全作業 2020年12月5日(土)～2021年2月21日(日)の間で、当会が指定する日に複数回実施。		<ul style="list-style-type: none"> 1級実技試験は下記のとおり試験を実施した。 ①機械系保全作業、設備診断作業 2020年12月20日(日)に実施した。 ②電気系保全作業 2020年12月5日(土)～2021年2月21日(日)の間で、当会が指定する日に実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり

別紙2 <2020年度 会場設置地区(都市)>

3級：学科（機械系保全作業・電気系保全作業）、実技（機械系保全作業）
試験中止

3級：実技（電気系保全作業）
試験中止

特級：29都市19会場

札幌、仙台、郡山、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区内、横浜、新潟、富山、金沢、福井、松本、岐阜、浜松、名古屋、津、大津、京都、大阪、神戸、奈良、岡山、広島、山口、高松、福岡

1級：学科（機械系保全作業・電気系保全作業・設備診断作業）、実技（機械系保全作業・設備診断作業） 54都市58会場

札幌、青森、盛岡、仙台、秋田、山形、郡山、水戸、宇都宮、前橋、太田、さいたま、千葉、23区内、横浜、新潟、富山、金沢、福井、甲府、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、豊橋、岡崎、津、大津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、和歌山、鳥取、松江、岡山、広島、福山、山口、徳島、高松、今治、高知、福岡、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

2級：学科（機械系保全作業・電気系保全作業・設備診断作業）、実技（機械系保全作業・設備診断作業） 56都市61会場

札幌、青森、八戸、北上、仙台、秋田、山形、郡山、水戸、つくば、宇都宮、前橋、太田、さいたま、千葉、23区内、横浜、新潟、富山、金沢、福井、甲府、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、豊橋、岡崎、津、大津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、和歌山、鳥取、松江、岡山、広島、福山、山口、徳島、高松、新居浜、高知、福岡、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

1級・2級：実技（電気系保全作業） 50都市 延べ127会場

札幌、帯広、青森、北上、仙台、秋田、山形、郡山、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区内、横浜、新潟、富山、金沢、福井、甲府、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、津、大津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、和歌山、鳥取、松江、岡山、広島、福山、山口、徳島、高松、今治、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

以上

機械保全職種 技能検定 (機械保全技能検定) 収支決算書

2020年度 2020年4月1日～2021年3月31日まで

事業の名称	機械保全技能検定
事業の内容	機械保全技能検定の実施
事業実施法人の名称	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会

単位：円

科 目		予算額	当年度	増減
I 事業収入	(1)受検手数料	458,214,000	336,065,275	▲ 122,148,725
	(2)その他収入	90,900,000	71,469,000	▲ 19,431,000
収入合計(A)		549,114,000	407,534,275	▲ 141,579,725
II 費用	(1)事業費	363,900,000	326,571,749	▲ 37,328,251
	諸謝金	25,200,000	20,858,333	▲ 4,341,667
	会場費	46,000,000	54,444,183	8,444,183
	旅費交通費	19,500,000	11,790,644	▲ 7,709,356
	消耗品費	9,600,000	8,738,668	▲ 861,332
	印刷費	5,800,000	4,222,800	▲ 1,577,200
	通信運搬費	40,900,000	35,266,311	▲ 5,633,689
	業務委託費	176,400,000	179,091,493	2,691,493
	減価償却費	5,500,000	6,217,717	717,717
	その他	35,000,000	5,941,600	▲ 29,058,400
	(2)管理費	128,823,000	124,073,586	▲ 4,749,414
	職員人件費	88,902,000	81,141,134	▲ 7,760,866
管理物件費	39,921,000	42,932,452	3,011,452	
費用合計(B)		492,723,000	450,645,335	▲ 42,077,665
当期収支(A-B)		56,391,000	▲ 43,111,060	▲ 99,502,060